



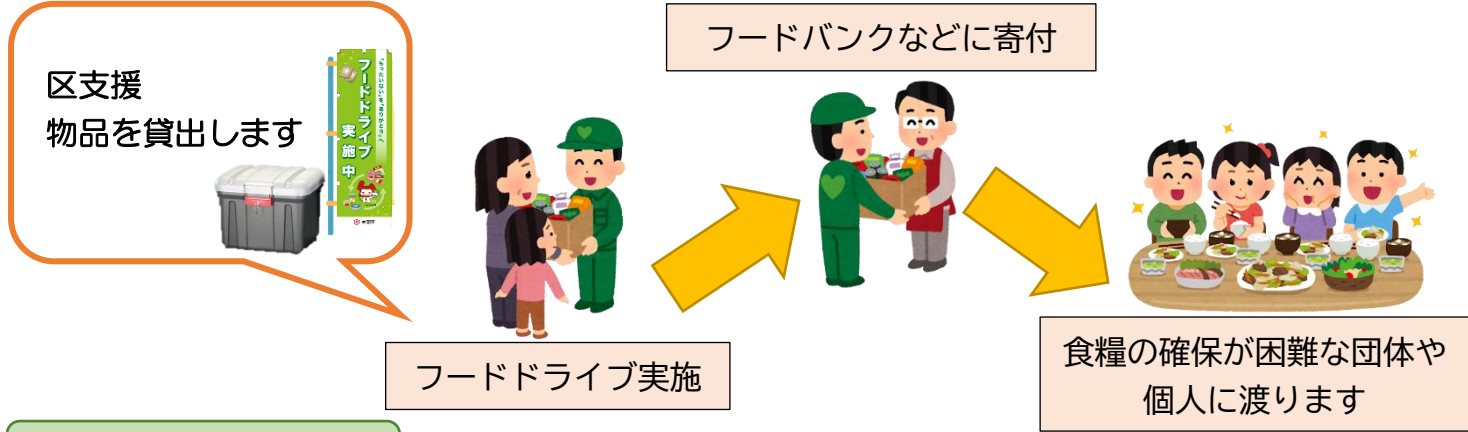
『もったいない』を『ありがとう』へ



フードドライブ実施マニュアル

フードドライブとは

家庭で使わずに眠っている食品を持ち寄り、食糧の確保が困難な団体や個人に提供するための活動



実施手順

① 事前準備・・・計画を立てる（実施日時、場所、提供先など）

- ・ 提供先(福祉施設やフードバンク※など)を決め、食品の受入条件・引き渡し日や運搬方法について相談しておく。
- ・ フードドライブの実施期間、場所を決める。
- ・ フードドライブの実施を周知する(実施日時・場所・受入条件等)。

※フードバンクとは

家庭などで余った食品や、食品の製造工程で発生する規格外品等を引き取り、福祉施設等へ無料で提供する団体・活動のこと。

② 実施準備・・・必要な物品を用意する

- ・ 食品を入れるコンテナ、案内表示、のぼり旗、はかり、電卓など



≪台東区では、食品回収用コンテナ、フードドライブのぼり旗、卓上ミニのぼり旗を無償で貸出しています。≫

鍵付きコンテナ



のぼり旗
W450×H1500mm
卓上のぼり旗
W100×H280mm

申し込みはこちらから



③ 実施

- ・ 食品の受け入れ時、期限切れ、対象外のものではないか確認。
- ・ 実績の記録と食品の引渡しのため、集まった食品の点数や重量を計ったり、食品全体の写真を撮ったりしておくことをお勧めします。

袋が開いているもの



賞味期限切れ

NG

④ 実施後

- ・ 回収食品を福祉施設やフードバンクなどに引き渡す。

≪区から物品の貸出を受けた方は、実施後1週間以内に物品の返却報告書を添えて、貸出物品を返却する。≫

回収できる食品と回収できない食品は、提供先によって違います。
必ず、事前に確認してからフードドライブを実施してください。

《参考》 よくある「回収できない食品」の例

フードドライブで回収する食品の受入条件は、提供先と調整の上決定しますが、よくある回収できない食品の例は以下のとおりです。

回収できない食品	回収できない理由
生鮮食品(生肉、魚介類、生野菜など)	フードドライブ実施団体や提供先に冷蔵庫・冷凍庫がない場合、腐敗の恐れがあるため
冷蔵食品、冷凍食品など温度管理が必要なもの	
手づくり品、お弁当、食べ残しの食品	食品衛生の観点から、フードドライブ実施団体や提供先が品質を保証できないため
開封されたもの、包装が破損したもの	
賞味期限が1か月または2か月未満のもの ※提供先により異なる	最終的な提供先への配布までに、最低1か月程度の余裕を見ておいておいた方が良いため
アルコール類(料理酒・みりんを除く)	アルコール類は趣向品であり、飲まない人・飲めない人もいるため
びん詰などガラス製容器に入ったもの	運搬の途中で割れる可能性があるため

東京都の事業

【 事業者支援 】 フードバンク寄贈促進事業

東京都は、食品ロス対策の一環として、賞味期限前であっても廃棄せざるを得ない食品をフードバンクに新規で寄贈する中小小売店に対して、輸送に係る費用を補助しています。

<補助金の額>

- ・補助対象経費10分の10
- ・1店舗当たり上限14万 4,000 円を補助

詳しくは↓

フードバンク寄贈食品の輸送費補助



問合せ先

台東区環境清掃部清掃リサイクル課

電話 03-5246-1018